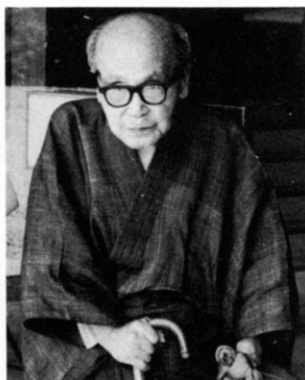




有朋自遠方来

平櫛田中氏

8月18日、真夏の太陽の照りつける午後、彫刻家で文化勲章受賞者の平櫛田中先生が来館。先生の代表作「鏡獅子」が昭和37年の「近代日本画名作展」に展観されたこともあって、当館とは馴染みの深いお方。今年96才を迎えられますが、とてもお元気、中国のやきものを心ゆくまで眺めておられました。「私は奈良にやってきて、ここに寄るのが一番のたのしみなんです」。もうなんともお見えになっています。

ビレンドラ皇太子



7月19日、ネパール国ビレンドラ皇太子一行が来館。矢代館長の案内で開催中の「中国陶磁展」を御観覧。皇太子は今春、東大大学院に留学し、経済学を専攻する21才の学生プリンス。釈迦生誕の地ネパールとは深いつながりのある仏都奈良での休日を、仏教美術の鑑賞、住宅団地や、新しい奈良の街づくりなど、新旧両面にわたる見学に忙しくお過ごしの様子でした。このたびの来県を機に、奈良に日本ネパール文化協会が結成されました。

季刊 美のたより No.3

昭和42年10月1日

発行 大和文華館